

ドローンシュート【2025・ルールブック】

2025/9/16 WTW 秋田

1. 基本ルール

(1) 試合形式

- ・チーム戦で「2 対 2」で行います。

(2) 試合時間

- ・1 セットは 2 分間。
- ・全 3 セット行い、2 セット先取で試合の勝敗を決定します。

(3) インターバル (休憩)

- ・セットとセットの間に 3 分間の休憩があります。
- ・この時間に「作戦会議」「選手交代」「バッテリー交換」「機体の点検」を行えます。

(4) 勝敗の決め方

- ・3 セット終了後、引き分けの場合は「フリーキック」で決定します。
- ・フリーキックでは、両チームのゴール前にボールを 1 個ずつ置き、ホイッスルと同時に各チーム 1 機が飛び立ち、先にシュートを決めた方が勝ちです。

(5) 得点方法

- ・試合開始時に、審判がランダムに 5 個のボールをグラウンド内に置きます。
- ・そのうち 3 個以上をゴールに入れたチームが、そのセットの勝者となります。

(6) ボールの扱い方

- ・ドローンの「風 (ダウンウォッシュ)」で動かす。
- ・または、機体を使って「キック」しても OK。

(7) 禁止行為

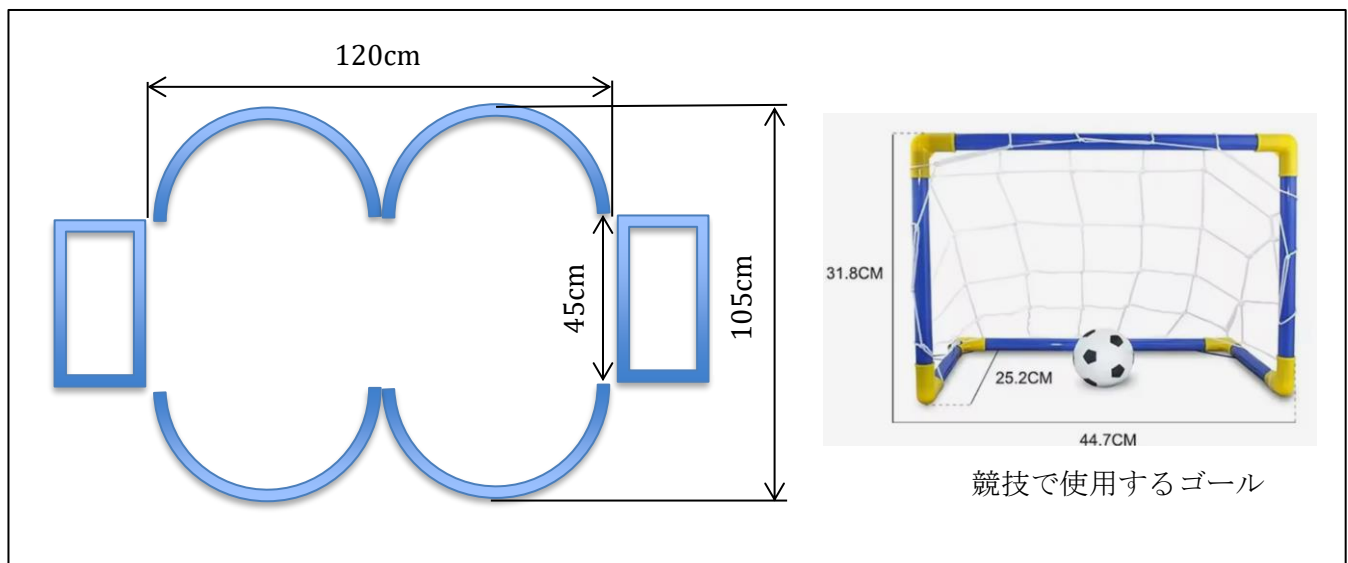
- ・わざと機体をぶつける行為は禁止です。
- ・他の選手や観客にドローンを当てた場合は「レッドカード退場」となります。

(8) ボールアウト

- ・ボールがグラウンド外に出た場合は、審判が戻して試合を続行します。

(9) グラウンドレイアウト

- ・競技に使うグラウンドの形・広さは、下記のレイアウトとします。



グラウンドレイアウト

2. 競技に使用できる機体

(1) 大きさと台数

- ・100g 未満の小型ドローン。
- ・チームで2機以上を準備してください。

(2) 安全装備

- ・必ずプロペラガードを（下図参照）装着してください。

(3) 仕様の自由度

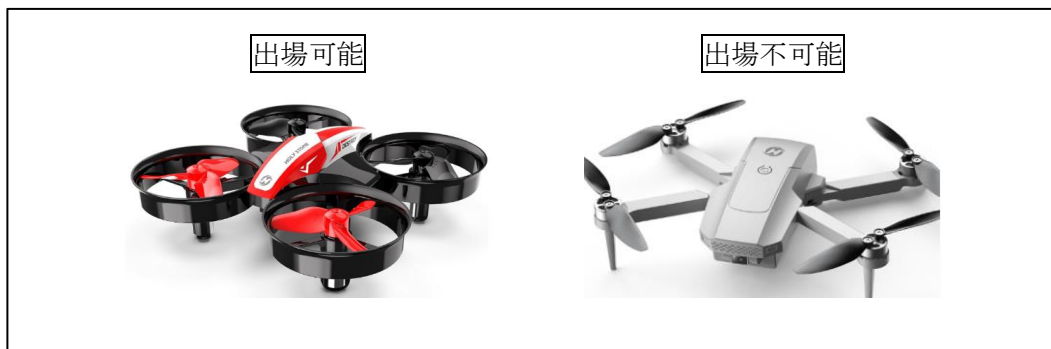
- ・モーターの種類やバッテリー容量は自由です。

(4) カメラについて

- ・カメラ付きドローンを使ってもよいです。
- ・ただし、操縦は必ず「目視」で行います。

(5) DJI TELLO について

- ・使用してもよいです。
- ・ただし、会場の Wi-Fi や照明の影響で誤作動する可能性があるため、推奨しません。



プロペラガードの例